



I 第28週の発生動向 (2026/7/6~2026/7/12)

1. 手足口病について、三戸+八戸市保健所管内の定点当たり報告数が**警報レベル**となりました。
2. 水痘について、中南保健所管内の定点当たり報告数が**注意報レベル**となりました。
3. 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「E型肝炎」です。

最終ページに掲載しています。

II 第28週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

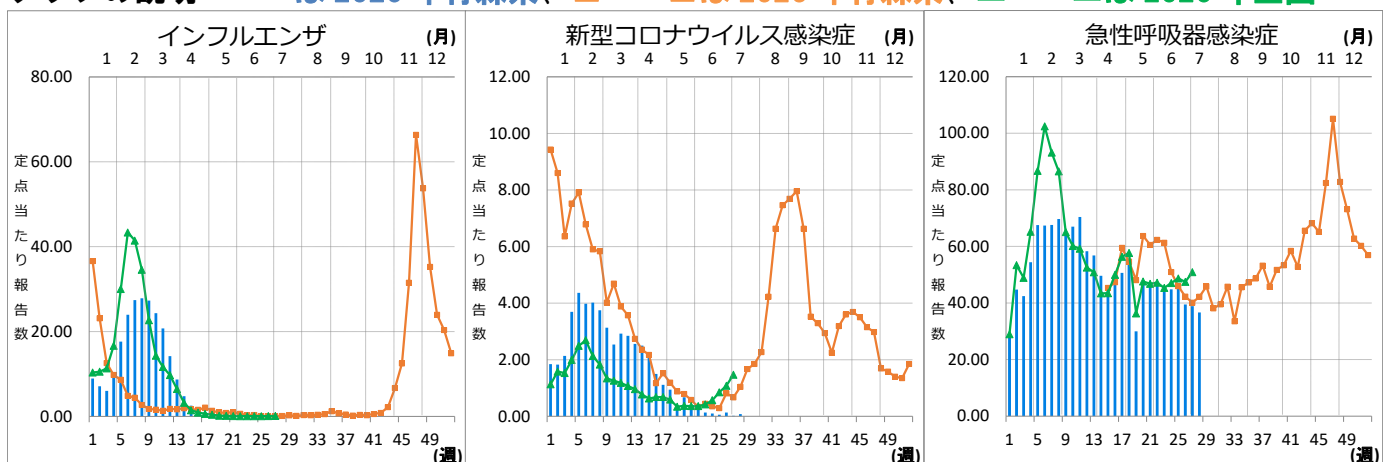
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報、「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	7	0.64	2	0.20	1	0.10	1	0.17	5	0.56	4	0.67	20	0.38	10
	新型コロナウイルス感染症	2	0.18	1	0.10					1	0.11			4	0.08	3
	急性呼吸器感染症	622	56.55	250	25.00	316	31.60	162	27.00	286	31.78	269	44.83	1905	36.63	-116
小児科	RSウイルス感染症			7	1.17	1	0.14							8	0.24	8
	咽頭結膜熱	2	0.33	1	0.17	3	0.43	1	0.20	1	0.17			8	0.24	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1.17	5	0.83	10	1.43	2	0.40	10	1.67	2	0.50	36	1.06	2
	感染性胃腸炎	7	1.17	7	1.17	20	2.86	15	3.00	1	0.17	1	0.25	51	1.50	-16
	水痘			8	1.33	2	0.29			1	0.17	1	0.25	12	0.35	7
	手足口病	21	3.50	18	3.00	37	5.29	21	4.20	6	1.00	1	0.25	104	3.06	50
	伝染性紅斑							1	0.20					1	0.03	-2
	突発性発しん	2	0.33			2	0.29	2	0.40	3	0.50			9	0.26	7
	ヘルパンギーナ	10	1.67	2	0.33			5	1.00	2	0.33			19	0.56	14
	流行性耳下腺炎															-2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎									1	1.00			1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	-1
	無菌性髄膜炎															0

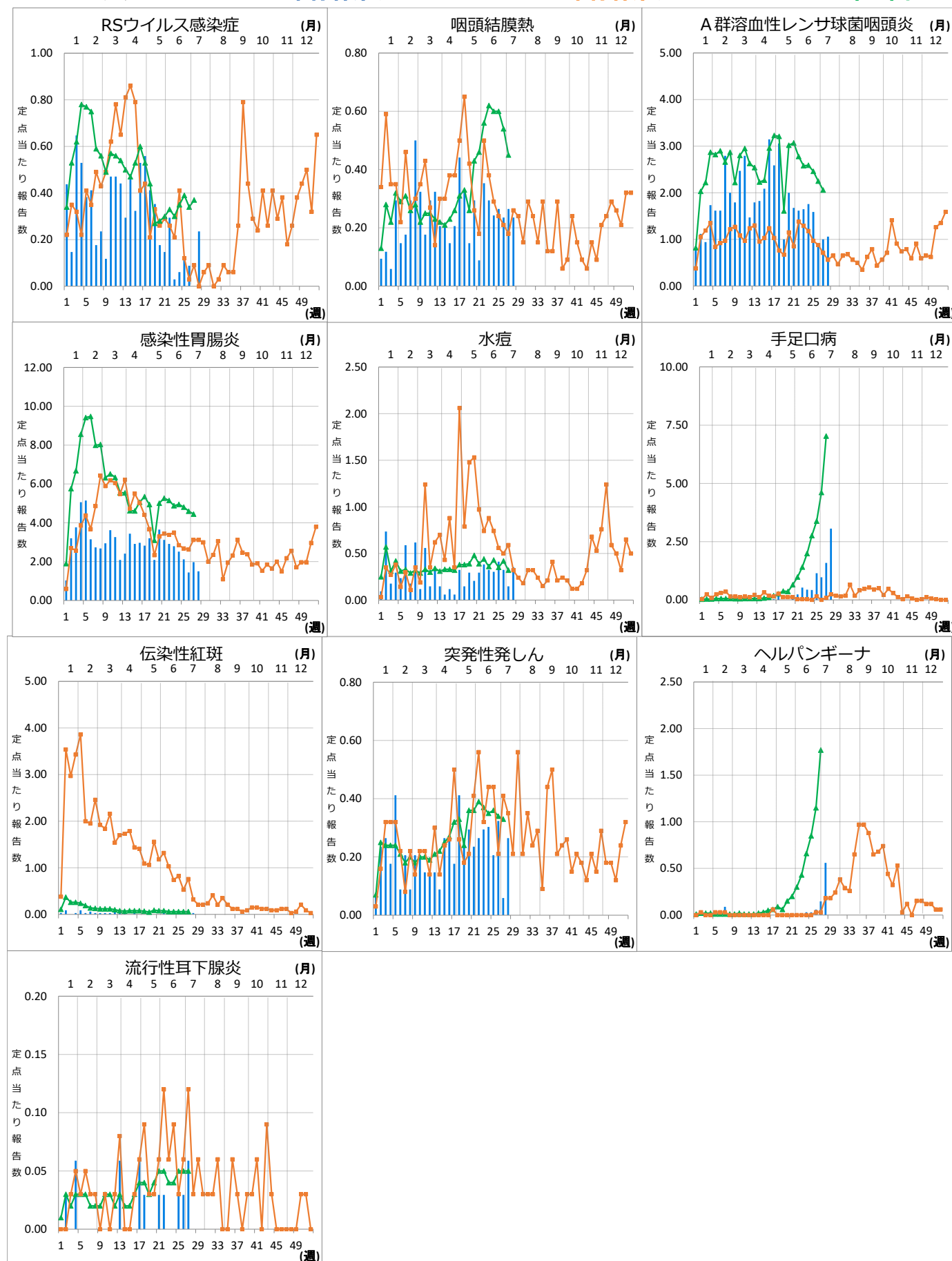
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第28週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は2026年青森県、■〓は2025年青森県、▲〓は2026年全国

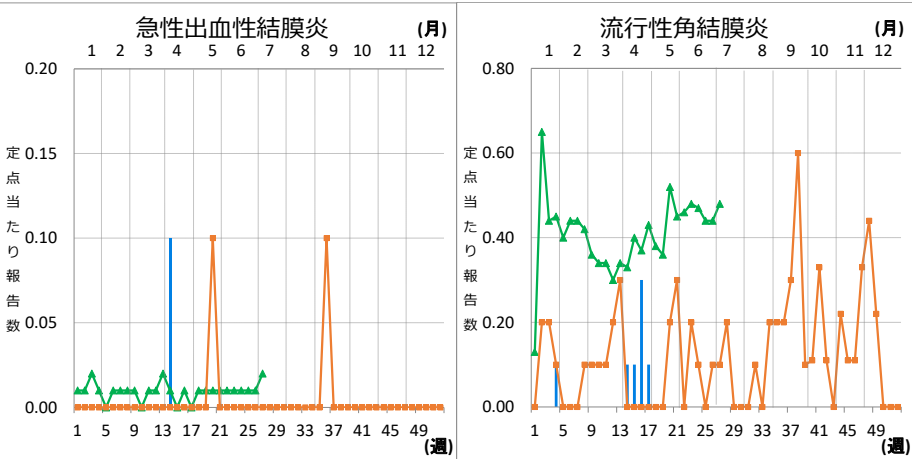


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 28 週、ただし全国は前週）

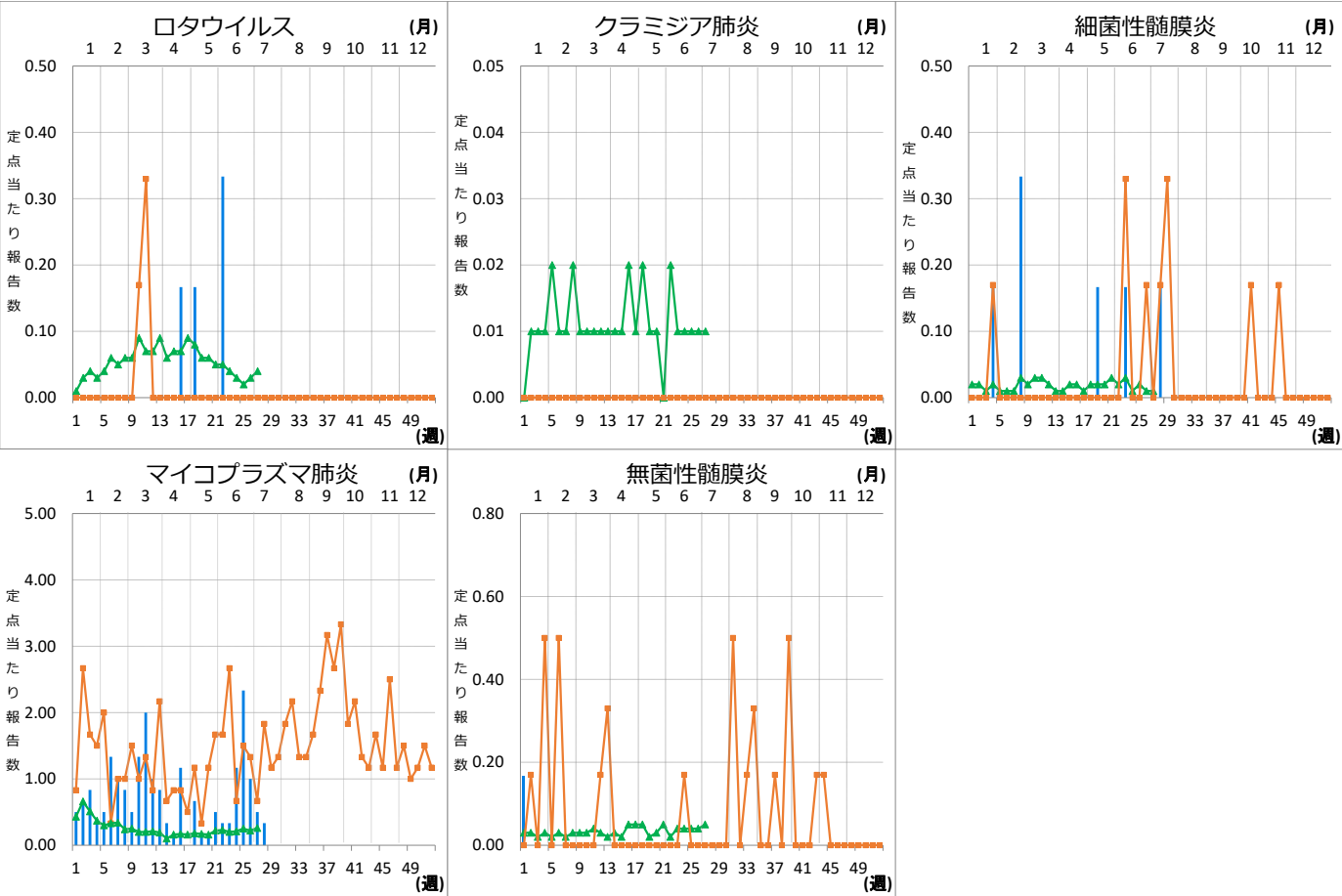
グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 28 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 28 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



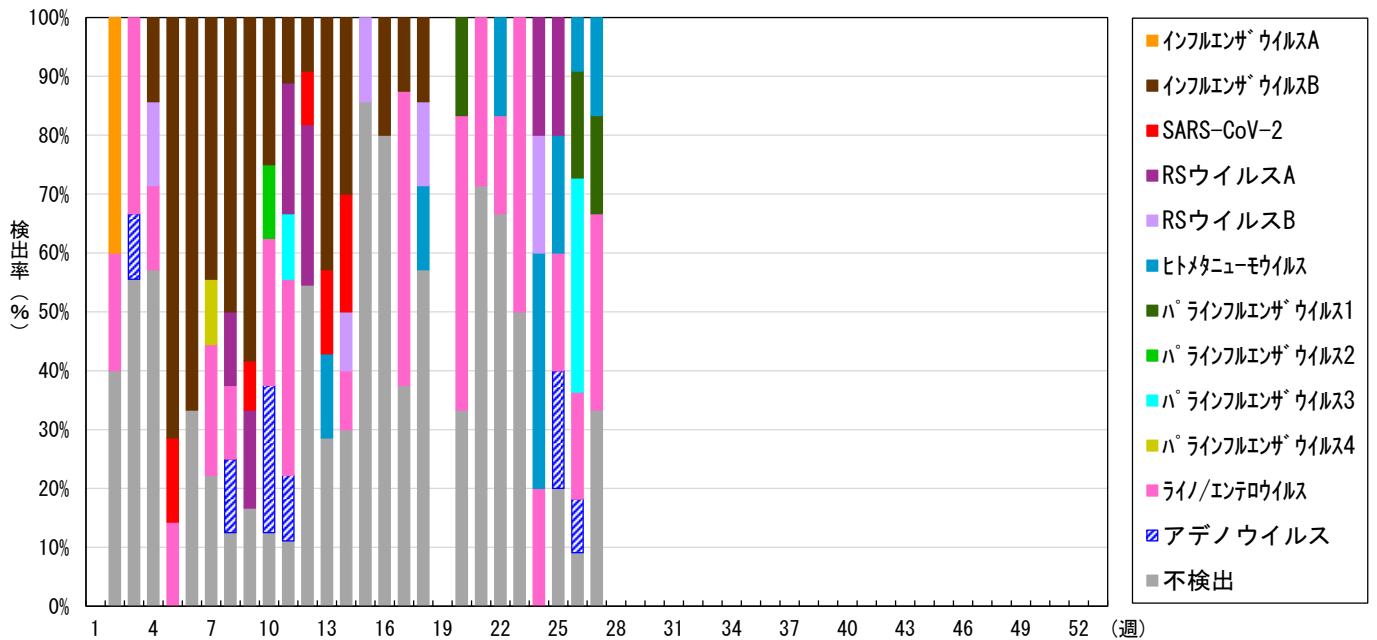
Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 21 週～28 週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週
提出検体数	7	6	8	5	5	8	6	5
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	1	1	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	1	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	1	0	2	1	1	1	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	2	1	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	4	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	2	1	4	1	1	2	2	
アデノウイルス	0	0	0	0	1	1	0	
不検出	5	4	4	0	1	1	2	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	5

※第26週に提出された検体のうち、パラインフルエンザウイルス3及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが2検体、パラインフルエンザウイルス3及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～27 週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 28 週）

- ・結核（二類感染症）：中南 1 人、八戸市 1 人、西北 1 人（2026 年計： 54 人）
- ・つつが虫病（四類感染症）：上北 1 人（2026 年計： 3 人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人（2026 年計： 6 人）
- ・百日咳（五類感染症）：中南 2 人（2026 年計： 23 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 25 週～2026 年第 28 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
25		梅毒 1 人 百日咳 1 人	結核 2 人	結核 1 人		
26	梅毒 1 人	結核 2 人 侵襲性インフルエンザ 菌感染症 1 人 侵襲性肺炎球菌感染症 1 人	結核 1 人 腸管出血性大腸菌感 染症 1 人 侵襲性肺炎球菌感 染症 1 人 百日咳 1 人			結核 1 人
27	つつが虫病 1 人 カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1 人	結核 1 人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症 1 人 梅毒 1 人 百日咳 1 人	結核 2 人	結核 2 人	腸管出血性大腸菌感 染症 1 人	結核 1 人
28	カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1 人	結核 1 人 百日咳 2 人	結核 1 人	結核 1 人	つつが虫病 1 人	

第 26 週に八戸市保健所管内で結核の届出が 1 件ありましたので追記しました。

第 27 週に中南保健所管内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症及び梅毒の届出が各 1 件、西北保健所管内で結核の届出が 1 件ありましたので追記しました。

第 27 週に上北保健所管内に計上されていたつつが虫病的届出 1 件について、診断週が第 28 週に変更となりましたので修正しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第27週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	7379	40	1461	20	11	362	145	8	77	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	3	5	96	2	59	41	208	2	22	1065
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	4	257	106	508	13	256	5	77	709	494
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	21	305	34	1653	463	96	5892	92	50	45
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	3594	2	547	9						

青森県（2026年第1週～第28週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	54	2	14	3	3	1	1	6	2	8
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳				
累積報告数	1	5	12	6	11	23				

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 28 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第28週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月					8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0									15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0									215
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0									13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0									268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0									2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0									38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0									0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0									0
計(月別)	件数	7	2	8	5	7	1	0										30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0										521

感染症の窓

E型肝炎は、E型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされる急性肝炎です。

潜伏期間は15～50日程度（平均約6週間）と長く、不顕性感染も多いとされています。発症すると、発熱、悪心、食欲不振、腹痛、褐色尿と強い黄疸が現れ、多くの場合1ヵ月程度で自然治癒しますが、まれに劇症化し死亡することがあります。特に妊婦は劇症化しやすいと報告されているので、注意が必要です。

主な感染経路は経口感染で、海外の衛生状況の悪い地域では、病原体に汚染された飲料水や食物の摂取による感染が多く見られます。国内の感染事例では、加熱不十分なブタや野生動物（シカ・イノシシなど）の肉や内臓の喫食が主な要因と考えられています。

E型肝炎に特別な治療法やワクチンはありません。予防には、ブタや野生動物（シカ・イノシシなど）の肉や内臓は十分に加熱して食べる、手洗いを徹底するなどの衛生管理が重要です。また、海外の流行地域では、生水や生の魚介類・野菜などの食品の喫食を避けましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。
[E型肝炎（国立健康危機管理研究機構 HP）](#)

E型肝炎

